

平成23年度 第2回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時 平成23年10月20日(木) 午後2時00分～午後4時00分

場所 花見川保健福祉センター3階大会議室

出席委員数 19名

欠席委員数 8名

事務局 9名

【1】次第

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 議題 (1) 先進活動事例の紹介
(2) 花見川区地域福祉計画の推進状況について
(3) 計画の周知について
(4) 第2期地域福祉活動基本計画と第1次地域福祉活動実施計画
(5) その他
- 4 閉会

【2】議事要旨

委員定数27名のうち、19名出席、8名欠席を確認し開会した。
配布資料の確認、社協各区担当者の事例発表見学の了承をもらった。

議題(1) 先進活動事例の紹介について

磯辺地区部会の石原氏より、「磯辺福祉協力員ネットワーク」についての発表をいただいた。(補足：資料では対象者1につき福祉協力員1～2人となっているが、説明では2～3人と訂正があった。また、1週間に1回は確認して欲しいとしている。)

<質疑応答>

鈴木委員：福祉協力員については無償だということだが運営費についてはどうか。経費はどのように賄っているのか。

石原氏：本年度の予算は地区部会から12万5千円つけてもらっている。

蔵屋委員：訪問による見守りは、本人とお話を玄関先でする程度とのことだが、家に上がり、お話(傾聴)をするようにできたらよいのかと思うが、どうか。

石原氏：これには2つの面があり、相手側のニーズとやる方の任務としてしまうと問題がある。やらなくてもいいという取り決めだが、実際は聞いている。やってもよいという協力員はよいが、深刻な状況にあまり巻き込まれてしまうと重荷になる。

鶴岡委員：外からの見守り、訪問以外に電話という手段があると思うが、あえてやらない理由があれば教えて欲しい。

石原氏：電話代の問題と、いても出ない方もいる。訪問で様子がわからないと、電話して確認する場合がある。電話も有効な手段だとは思っている。

横矢委員：組織を立ち上げる時に、老人クラブを入れなかったのはなぜか。

石原氏：住民に働きかけていくような規模をもった団体とした。老人クラブは趣味の団体と認識していた。今年度、磯辺老人クラブとの交流会を持つ予定である。

相原委員：施設との連携・協力していることがあれば教えて欲しい。

石原氏：施設との関わり合いはあまりできていない。あんしんケアセンターにはネットワークに入ってもらっている。今後情報を出して協力していきたい。

議題（２）花見川区地域福祉計画の推進状況について

事務局より、資料３、４について説明。資料３の様式に知り得た範囲で加除訂正を、また新規事業については資料４の様式にて提出して欲しい旨、依頼。

<質疑応答>

鶴岡委員：知り得ている範囲でよいとのことだが、何も書かなければやっていることになるがよいか。

東野委員：地区部会の活動として載せるのか疑問である。

天春委員：何をやっているか知らせたいのではないか。新しいものをプラスするだけでよいのでは。

中垣委員：役所が持つだけか、どこかに情報提供するのか。

事務局：委員のみなさんのみに配付する予定である。

吉松委員：この目的は。現状を把握し、次どうするかを考えるためか。いいものは他地区にも推進していくとか、足りないものは何かを話し合う土台となるべきでは。

事務局：これをもとにどうしていくかを考えるための資料である。

議題（３）計画の周知について

事務局（鈴木補佐）より、第２期地域福祉計画の周知をリーフレット配付と出前講座にて行う旨、説明。

<質疑応答>

東野委員：回覧はしないのか。区民まつりに配る必要はない。

事務局：各地区に配布予定である。出前講座も活用して欲しい。

山田委員：「要約版」と呼ぶのが正式なのか。「リーフレット」と言ったり、わかりにくい。ちゃんと説明を補足して欲しい。

事務局：（謝罪）

議題（４）第２期地域福祉活動基本計画と第１次地域福祉活動実施計画

事務局（社協花見川区事務所長）より、標記計画について資料５・６に基づき、完成の報告と要点を説明した。

<質疑応答>なし

議題（５）その他

事務局からの議題はなし。鈴木委員より、自身の活動紹介として千葉市地域支え合い体制づくり事業によるシニアライフトータルサポート事業の内容説明。

<質疑応答>なし

原田委員長が閉会を宣言し、午後４時００分第２回花見川区地域福祉計画推進協議会は閉会した。